



NNA (Thailand) Co., Ltd.

Address : 240/14 Ayodhya Tower 13th Floor Ratchadapisek Rd., Huay Kwang Bangkok 10320
Tel : 02-274-0346 Fax : 02-274-0351 E-mail : sales@nna.co.th

タイ版

MICA(P)202/04/2011

TOP NEWS

滋賀の薬を海外へ 製薬組合がタイ視察

滋賀県製薬工業協同組合は 11～15 日、医薬品や健康食品の海外への販路拡大を目的に、タイの医薬品市場を調査する視察団を派遣した。組合の海外視察は今回が初めて。視察団の団長を務めた東洋化学（滋賀県日野町）の岡幸一社長は、「海外への販路拡大を目指す中、今回の視察で収集した情報を組合各社の今後に役立てていきたい」と述べた。【濱田祐梨子】



ツルハの店内を視察する滋賀県製薬工業協同組合の関係者
＝13日、バンコク（NNA撮影）

組合は昨年、一般医薬品を製造販売する加盟企業の支援に向け、販路拡大と新製品開発に注力する新規委員会を設置。中国や台湾に比べ、組合企業の市場参入がまだ進んでおらず、日系企業の多いタイを初の海外視察先に選んだ。視察団には組合に加盟する製薬 10 社と県の健康福祉部、滋賀銀行の担当者ら総勢 18 人が参加した。

視察団はまず 12 日に、厚生省食品医薬品委員会（FDA）を訪問。輸出入に関するセミナーを受講し、関連諸法や諸手続きについて情報を収集した。その後、大正製薬ホールディングスと、タイの消費財・栄養ドリンク大手オートソサバーとの合併工場（医薬品と飲料）や、医療器具などを生産するニッタモールド（滋賀県甲賀

(次ページへ続く)

NEWS HEADLINE

【医療】 滋賀の薬を海外へ
【経済】 ものづくり大因インドの活用を
【IT】 東芝、洪水被災の半導体工場が出荷再開
【製造】 東芝機械、ラヨン県に新工場
【食品】 梅の花、S & P と和食店・食品販売で合併
【車向】 ホンダ10月販売2.1万台、10カ月で通年記録超え
【家電】 富士フイルム、デジカメ新製品2モデル発表
【車向】 タイ洪水影響で自動車関連が下押し＝ミクニ社長
【経済】 工業団地へマラート、1～9月は大幅増収増益
【建設】 工業団地アマタが3倍益、土地販売好調
【経済】 10月22日の投資委員会認可事業
【経済】 10月22日の投資委員会認可事業（表）
【社会】 週末に北海道フェア、都心スクンビットで
【農水】 対中コメ輸出500万トンへ、21日に覚書
【農水】 製糖ミトボン、オーストラリア事業を拡大
【政治】 オバマ大統領が来タイ、国王に面会も
【媒体】 イベントのインデックス、ミャンマー事業拡大
【資源】 パンプー、石炭価格下落でQ3大幅減益
【金融】 マレーのRHB、OSK証券に公開買い付け

1 【社会】 24日の反政府集会、警察が5万人で警戒 10
2 【労働】 家政婦の労働条件改善、休みは週1日以上 10
3 **インドシナのニュース**
4 【経済】 造幣局、東南アジアで攻勢 11
5 【政治】 党勝でば「引き継ぐ用意」大統領職でスー・チー氏 11
6 【経済】 ロ首脳、2年連続欠席 東アジアサミット 11
7 **アジアのニュース**
8 【労働】 《労使》インドネシア、中小の賃上げ影響懸念 12
9 【家電】 旧三洋事業の黒字化にめど、海爾CEO 12
10 **特集**
11 【JCC便り】 ナレスワン大学のダウエー調査団がJCC来訪 13
12 **マーケット情報、その他**
13 商品市況 14
14 クロスレート 14
15 マーケット情報 為替と株式 15
16 各地のコラム 16

市)のタイ工場を視察した。

医薬品、「安さ」の壁

13 日には、バンコク都内にあるツルハホールディングス（札幌市東区）のタイ 1 号店を視察した。東洋化学の主力品であるばんそうこうの販売コーナーに足を止めた岡社長は、製品一つ一つを手にとり、「どこで生産して、どのような流通網を使えば、この値段で売れるのか」と、物によっては日本で同社が販売する製品の半分以下という価格を注視していた。

ツルハ・タイランドの担当者は、医薬品の販売動向について「タイで販売されている医薬品は安い。また一般的に薬を買い置く習慣のないタイ人は、箱ではなくシートで購入するなど、一回当たりの購入価格を抑える傾向が強い」と説明。

同社がタイ人 400 人を対象に実施した調査では、約 7 割が薬の購入先は「近所の薬局」と回答するなど、「必要な時に必要な量だけを近くで買う消費者が多い」という。そういった中で日本ブランドの医薬品を普及させるには、価格を抑えるためにも現地生産が最適との考えを示した。医薬品は FDA の規制が厳しいことから、ツルハはタイでは現在、日本から輸入した医薬品は置いていない。

医薬品売上、5 割はバンコク

視察最終日となった 14 日には、スイス系の流通大手 DKSH タイランドが開いたタイの製薬市場に関する講演を聴講。今後高齢化が進むタイでは医薬品市場の伸びに期待でき、後発となる日本の製薬ブランドにも成功の余地があることが語られた。同社によると、昨年の医薬品市場は米ファイザーが売り上げ首位で、地場 2 社を除く 8 社を外資企業が占めた。日系は入っていない。外

資製薬メーカーの売り上げの約半分は、バンコクに集中している。

DKSH タイランドのヘルスケア部門で日本企業をサポートする菅原幸治・事業開発マネジャーは、「日本からの輸入医薬品であっても、高品質・高級ブランドなどマーケティング戦略によって、医療業界向けなど開拓できる販路はある」と指摘した。バンコク都内にある富裕層向けの私立病院では、安い医薬品は取り扱わない傾向がある反面、地方では地場企業の安い製品が一般的ななど、需要の多い価格帯に幅があり、的確なマーケット戦略と販売網が必要とした。

予防薬需要に期待

視察団はその後、富士製薬工業が先月買収を完了したタイ最大の医薬品製造受託メーカー、オーリック（タイランド）の中部アユタヤ工場を見学した。視察団からは「この工場で生産に対応できる品目は何か?」「仮に現在生産していない製品を依頼し、新規設備投資が必要な場合、拡張のスペースはあるのか?」といった質問が出された。中には、コストを抑えるためタイで生産し、日本に逆輸入することが可能か考えているという参加者もいた。

視察を終えた滋賀県製薬工業協同組合の大北正人理事長（日新薬品工業＝滋賀県甲賀市＝社長）は NNA に対し「今回の視察でタイの医薬品市場をゼロから学ぶことができた」と説明。「現状では日本からタイへの医薬品輸出販売が難しいことは分かったが、メーカーはその先を見据える必要がある。経済成長が続くタイでは今後、治療薬だけでなく、その前段階である健康食品などの予防薬の需要が日本と同様に伸びているとみており、今はまだない新たなマーケットができる可能性がある」とタイ市場の今後に期待を示した。

PHOTO NEWS



ケアンズで観測された皆既日食。日本からも多数の観光客が宇宙の神秘を堪能した＝14日、豪政府観光局

TAKE OFF

オカマじゃなくて美人と呼んでみようたい。失礼ねえー。都内シロムのヒンズー教寺院で13日に行われたディワリ（灯明祭）に行くとき、盛装した野太い声の「美人たち」が、ずいぶん目立った。その理由を彼女らに聞いた。その「陰・陽」や「冷・熱」など万物に二元的原理があるとする中国文化と「ゼロ」を発見したインド文化。その両文化の狭間（はざま）のインドシナのタイのオカマは、男・女という二元論を超越したインド文化を好むのだから、そんなことを考えていると、「いやーん。男か女かではなく、美しいかどうかが肝心なのよ」と思考が遮られた。「私たちは皆スーパーマモデルなの。インドの神様を信じれば、美しさとお金が永遠に手に入られるから、今日はシヨールの仕事をお休みに来てみるの」と語る彼女たち。インドの女神もほほ笑んでいるだろう。（遠）

第9号発行

人とマネーは「夢」が呼ぶ

カンパサール

生活者の素顔と日常を通してアジア市場を読み解く、アジアで働く駐在員と出張者のためのビジネスペーパー

The Daily NNA 別冊